

具体的なイメージを持つための総ざらい（平成 30 年 11 月 7 日更新）

徹底して現場で使えるスキルを身につけるため、中小企業診断士養成課程では演習とは別に一次試験科目の内容をブラッシュアップするガイダンス授業を設けています。30期生は流通業経営診断実習に備えて、3日間で流通業の診断に欠かせない知識の総ざらいをし、活性化する段階に入っています。

先週末には班編成と診断先企業が発表になり、実習先の業種も業態、立地といった背景がすべて具体的になっています。これまで一般論として学んできた知識ですが、どこでの理論、知識、フレームワークを使えばいいのかが明確になってこそ実用化できるようになります。

準備は万端整いました。いよいよ今週末から、実習が始まります。

